

会 議 録

1	会議名	第4回富士見市歯科口腔保健推進委員会
2	開催日時	平成26年1月29日(水) 午前10時～11時30分
3	出席者名	委員：大渡廣信委員長、三木とみ子副委員長、加治茂幸委員、是永國彦委員、富岡明子委員、長堀厚子委員、苗代明委員、二川明子委員、西和江委員、宮陽一委員 (欠席委員：荒木悦二委員、広瀬幸樹委員) 事務局：岩田健康福祉部長、久米原健康増進センター所長、銘苺健康増進センター副所長、相原健康づくり支援係主査、樋口主任
4	傍聴者	0名
5	次第	1 開会 2 後任委員紹介 3 委員長の選出 4 委員長あいさつ 5 審議 6 その他 7 閉会
6	決定事項等	・委員長の選出 ・歯と口腔の生涯健康づくり条例(案)に対する意見募集の結果について審議 ・諮問に対する答申について
7	議事内容	
	委員 事務局	<p>1 開会</p> <p>2 後任役員紹介 (苗代委員)</p> <p>3 委員長選出 ・互選により大渡委員に決定</p> <p>4 委員長あいさつ</p> <p>5 審議 (歯と口腔の生涯健康づくり条例(案)に対する意見募集の結果について事務局から説明)</p> <p>質疑・意見等 第1条 意見なし</p> <p>第2条第3号 ・「機関」という言葉は堅苦しいので、「組織」の方がわかりやすいと思う。 ・「組織」だと、町会など形態を持っているところは全て対象になってしまう。「保健医療従事者等」をできるだけ幅広い関係者を加えることができるような条文にした。パブリックコメントの解説にも掲載したが、機会があるごとにわかりやすい表現でPRしていくことも考えているので了解いただきたい。</p>
	委員	<p>第3条第2号 ・今後行動計画を策定する際に具体的で参考になると思う。</p>

委員 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・知識を伝えるだけでなく実践ができるようにという意味で捉えられたら良い。 ・小学校で年1回歯科指導をする際に、保護者にも教えてあげるようにと伝えている。大人と子どもの垣根を越えて教え合えるのは非常に良いと思う。行動計画に入れていただきたい。
委員長	<p>第3条第3号</p> <ul style="list-style-type: none"> ・①について、医科の方では電子カルテ化が進んでいるが、歯科では遅れている。歯科医師会としてもデータ管理についてなど進めていく方針である。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・②③について、歯科の指導の状況は、学校の実態によって変わってくると思う。音楽を流してやるのは非常に良いと思うが、給食後に全員が一斉に歯磨きをするということは難しいと思う。今回は条例についてなので、計画に入れていきたいと思う
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・条例そのものが虫歯予防だけでなく、歯科口腔保健なので、広い意味で食生活や生活習慣も含んだ形で行動計画に入れていくと考えている。
委員	<p>第4条第1項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近隣市町村との連携ということでは、二市一町の歯科医師会は、入間郡市歯科医師会の組織では一緒なので、歯の健康フェアや健康まつりなど情報交換しながら実施している。
	<p>第5条～第7条 意見なし</p>
委員 委員長	<p>第8条第2号</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4, 500円の意味とは、どういうことですか。 ・4, 500円というのは、成人歯科検診をした際に、市から歯科医院に支払われる金額である。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちと同年齢の者は、特定健診や人間ドックは結構受けているが、歯科健診はあまり受けていない。PR不足かもしれない。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちも検診の受診率の向上については、一生懸命考えているところ。計画の中で検討して織り込ませていただきたい。
委員 委員 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科検診のクーポン券のようなものがあると良いのではないか。 ・(特定)健診の通知と一緒に歯科健診の通知も一緒に送れば良いのではないか。 ・市で実施する特定健診の対象者は、国民健康保険加入者だけで全体の1/3程度で、その他は社会保険等になるため実施していない。また、特定健診の受診券の封筒に入れた場合、内容が多く、入らないことや、わかりにくいことも考えられる。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・他市では、歯科検診を30歳以上全員ではなく、30、35、40、45歳というように区切って通知している。通知が来れば、「行かなくては」というようになるのではないか。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・5年に1度の節目検診では間隔が長すぎるということで、30歳以上の市民は毎年受けられる歯科検診を始めた経緯がある。
委員 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・お薬手帳と同じような歯科の手帳を作れると良い。 ・お薬手帳と一緒にした方が、市民は何冊も持たなくても良い。震災の際はあると良いが、予算も含めて検討する必要がある。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・シールであれば、自分の手帳にも貼れるので、災害時に治療経過や口腔内の状況がわかる。
委員 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・市で発行している健康手帳も利用できると良い。 ・社保の健診にも歯科検診は入っていないので、全市民に向けて歯科の手帳を配布すると、全市民に意識を持たせることができる。

委員	・成人歯科検診が500円でできることをPRして、受診者に処置したことを記入した手帳を渡せると良い。
委員	・30歳からの検診のため、高校卒業後の18歳～29歳までの方が対象とならない。この部分を埋めていきたい。
委員	・富士見市は、成人式の参加率が高いので、成人式の配布物に入れてもらえるとう良い。
委員	・この事業は各段階ごとの特徴に合わせて、抜ける部分をどうするかを行動計画に入れると、他市と違った特徴的なものになると思う。
事務局	<p>第8条第6号</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在ふじみ野駅東口に4階建てのビルの3階に食育活動をするための食育推進室を計画中。平成26年度中に設計建築、27年春開館予定。食育推進室は、健康増進センターで運営を担当。回答としては、設計案の中で検討させていただくという回答にした。
委員	・食べたら磨くということは大切なので、できる範囲で反映していけると良い。
委員	・食育とともに、歯科衛生士等専門家による事業として展開できると良い。
事務局	・今後策定する計画に織り込んでいただけると良い。
	<p>第9条 意見なし</p>
事務局	<p>第10条</p> <ul style="list-style-type: none"> ・①について、市のホームページや封筒には、広告を掲載している。今後計画に織り込んでいただき、健康増進センターでも事業を進めていきたい。
委員	・②について、全員が一緒に使用するには蛇口は足りない。大規模改修も予算が決まっている中で、職員と子どもで工夫して学ばせていくことも考えている。
委員	・人間都市歯科医師会での調査では、歯磨きを全校的に取り組んでいる学校は少ない。虫歯との関係を見ると、歯磨きの有無ではなく、歯科医師や歯科衛生士の指導をしている学校の方が圧倒的に虫歯が少ないという資料があった。来年は、歯科医師会で小学校に学校歯科医が訪問し校長先生とお話しさせていただくつもりでいる。
委員	・校長会での調査でも「歯に関しての保護者の関心が高いか」との質問に「いいえ」という回答が多かった。
委員	・生活習慣を整えることで、生徒指導上の問題を変えるということは、全国的に調査してもかなり関連しているので、そこに歯科保健を上手に入れ込むことで、子ども達の生活と歯科保健がうまく絡むと思う。
事務局	<p>6 その他 今後の予定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回検討いただいたパブリックコメントに対する回答案、審議いただいた条例案については、委員長から直接市長に答申していただきたいと考えている。条例については3月議会に提案させていただく予定である。この後の委員会の役割としては、行動計画の検討に入るが、4月以降に日程調整をして、審議いただきたいと考えている。
	<p>7 閉会</p>
<p>8 資料</p>	
<p>意見募集の結果について、条例（案）</p>	